

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 4 月 10 日

事業名称		体育施設費 [指定管理委託業務・新型コロナウイルス感染症対策事業]											
予算科目	款	10	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育施設費	事業番号	1-2		
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)												
担当部署・課長名		社会教育			課			生涯学習			係	課長名	高田 匡章
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号		1 - 5		
【施策名】 スポーツ・レクリエーションの推進									総合計画書 (ページ)		43		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)								
	市内体育施設(市民体育館、市民プール、桜が丘市民広場、上仲原公園野球場、テニスコート)				指定管理者が管理している施設数=5								
	→												
この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)								
	各体育施設等を利用者(市民等)が安全に、快適に利用できる状態				各体育施設等の利用件数・人数(団体・個人)								
	→												
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)								
	(1) 指定管理者と例会会議を行い、毎月の事業報告を踏まえて、施設管理面、運営管理面等の改善策を協議した。				(1) 毎月実施した。								
	(2) 定期点検の結果を踏まえ、必要に応じた施設・設備の補修又は改修を行った。				(2) 適宜実施した。								
	→												
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標					
	対象指標	①の数値	施設	5	5	5							
	成果指標	②の数値	団体 個人	市民体育館(団体) 5,737件 市民体育館(個人) 70,517人 市民プール(個人) 44,518人 上仲原公園野球場(団体) 404件 上仲原公園テニスコート(個人利用枠) 2,911件 桜が丘市民広場(団体) 1,074件	市民体育館(団体) 5,531件 市民体育館(個人) 71,314人 市民プール(個人) 48,203人 上仲原公園野球場(団体) 442件 上仲原公園テニスコート(個人利用枠) 2,887件 桜が丘市民広場(団体) 1,052件	【調査中】 市民体育館(団体) 件 市民体育館(個人) 人 市民プール(個人) 人 上仲原公園野球場(団体) 件 上仲原公園テニスコート(個人利用枠) 件 桜が丘市民広場(団体) 件							
	目標	②の目標値	%	各施設5%増	各施設5%増	各施設5%増	各施設5%増	各施設5%増					
	目標値設定の考え方 利用件数等が前年度実績を上回れるよう利用しやすい施設運営を行う。												
	活動指標	③の数値	回	24	24	24							
3 経費	事業費(実績)		円	85,570,000	84,945,000	105,348,907	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)						
	財源	一般財源	円	85,570,000	84,945,000	105,348,907							
		特定財源	円										
		(うち受益者負担)	円										
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.4	0.4	0.4							
		所要人数(再任用)	人										
		職員人件費(再任用以外)	円	4,951,800	3,297,600	3,324,000							
職員人件費(再任用)		円											
事業費+人件費		円	90,521,800	88,242,600	108,672,907								
4 環境変化等	(1) 開始年度		22 年度										
	(2) 環境の変化		本事業は、平成22年4月から、住民サービスの向上及び施設管理業務等の効率化を図るため導入した。 現在の指定管理者は、施設管理面、運営管理面ともに、大きな問題は生じていない。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、屋内体育施設は3月5日から臨時休館となり、団体利用予約を全てキャンセルし、個人利用も全面中止することとなった。										

事業名称	体育施設費 [指定管理委託業務・新型コロナウイルス感染症対策事業]			
担当部署・課長名	社会教育	課	生涯学習	係 課長名 高田 匡章

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について すこやかスマイルバスをはじめ、体操教室、講習等の自主事業、みんなの体育館まつり等のイベント開催等、多くの利用者からの評価は、概ね良好である。 また、受付時間延長等、利用者の利便性向上にも積極的に取り組んでおり、高い評価を得ている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ ☒ 取り組まない	取組手法： 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 東大和市体育施設等の指定管理者仕様書等に基づき、東大和市体育協会をはじめとする社会体育活動を行う団体との協力、育成等を行うこととされており、指定管理業務のほか、自主事業等においても、積極的に取り組んでおり、概ね良好な関係が構築されている。			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 第2期指定管理業務委託の最終年にあたるが、これまで5年間の実績は概ね良好であった。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。 受付時間延長等、利用者の利便性向上、さらにはすこやかスマイルバスの活用や、体操教室や講習会等の自主事業を充実したことで、年々、体育施設等利用者が増加しており、費用対効果が高い事業となっている。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案） 施設運営等のソフト面については、利用者からの評価が高い一方、施設整備等のハード面については、施設の老朽化が進行している。 大規模改修は、施設管理者として市の予算等の対応、小規模改修（50万円未満）は、施設運営者（指定管理者）が未然に危険防止できるよう対応しているが、築後30年以上となったことから、大規模改修が急務となっている。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： スポーツ・レクリエーションの推進 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☒ 拡大 ☐ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 第三次基本構想に掲げる「市民の健やかな心と体づくりのために、地域社会が一体となってスポーツ・レクリエーション活動を推進し、誰もが生涯を通じて元気に暮らすことができるまちづくり」を実現するために、現有するスポーツ施設を有効活用できるよう、指定管理者と連携する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 スポーツ施設の老朽化は、スポーツ・レクリエーション活動を推進することに大きく影響する問題であり、僅々の課題として、具体的な改善計画を検討する必要がある。			